

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画 事後評価シート
船生上桜地区

平成26年3月

栃木県塩谷町

様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 栃木県 | | 市町村名 | 塩谷町 | | 地区名 | 船生上桜地区 | | | 面積 | 66ha | | |
|--------------------------------------|---|----------------------------------|--|--------------------------|------|---|--------|-------|--------------------------------|--------------|--|--|---------|
| 交付期間 | 平成21年度～25年度 | | 事後評価実施時期 | 平成25年度 | | 交付対象事業費 | 588百万円 | 国費率 | 0.4 | | | | |
| 1)事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 | 事業名 ・道路(町道清水宮本線、町道船生中学校線、町道新谷川村線)・地域生活基盤施設(芝生広場、案内板) ・高次都市施設(地域交流館) | | | | | | | | | | |
| | | 提案事業 | ・地域創造支援事業(旧船生中学校解体除却) ・事業活用調査(今後のまちづくり検討調査) ・まちづくり活動推進事業(地域交流施設利用促進イベント) | | | | | | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 | 事業名 ・地域生活基盤施設(休憩トイレ) ・公営住宅等整備(船生町営住宅) | | | 削除/追加の理由 ・高質空間形成施設へ移行したため事業を削除 ・地域住宅計画に基づく事業へ移行したため事業を削除 | | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 影響なし | | | | |
| | | 提案事業 | ・地域創造支援事業(交流農園) | | | ・事業内容の見直しにより削除 | | | 影響なし | | | | |
| | 新たに追加した事業 | 基幹事業 | ・地域生活基盤施設(備蓄倉庫) ・高質空間形成施設(休憩トイレ) | | | ・地域の防災性を向上させるため事業を追加 ・地域生活基盤施設から移行のため事業を追加 | | | 影響なし | | | | |
| | | 提案事業 | 無し | | | | | | | | | | |
| 交付期間の変更 | 当初 | 平成21年度～平成25年度 | | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | - | | | | | | | |
| 2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | 数値 | | 目標 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 | | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | 達成度 | | | | | |
| | 指標1 | 地域交流施設利用回数 | 回/年 | 200 | H20 | 300 | H25 | | 312 | ○ | あり なし | 町道の拡幅と地域情報案内スペース及び会議室等を備えた地域交流館、芝生広場、休憩トイレ等の整備により、地域交流施設の利用回数が増加した。 | - |
| | 指標2 | 地区内イベントの参加人数 | 人/年 | 250 | H20 | 750 | H25 | | 5,212 | ○ | あり なし | 町道や地域交流館等のハード面の整備、施設利用促進イベントなどのソフト面の施策により地域活性化によるにぎわいの再生を図るイベント参加者が増加した。 | - |
| | 指標3 | 町営住宅入居率 | % | 80 | H20 | 95 | H25 | | 95 | ○ | あり なし | 町道3路線の拡幅整備とともにRC造2階建て24戸の町営住宅船生団地が整備されたことにより良好な住環境の整備が図られた。 | 平成26年5月 |
| 指標4 | | | | | | | | | あり なし | | | | |
| 3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | 数値 | | 目標 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 | | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | 達成度※1 | | | | | |
| | その他の数値指標1 | 施設利用者の満足度 | % | | | | | | 83 | | 地域交流館の整備に伴う効果として、来訪者に対してアンケート調査を実施した結果、回答者の8割以上が「良い」と回答した。 | - | |
| その他の数値指標2 | | | | | | | | | | | | | |
| 4)定性的な効果発現状況 | 旧船生中学校跡地には、老朽化した校舎・体育館・プール等の建築物が残存していたことから犯罪の恐れがあったが、解体除却されたことにより防犯面の安全性が確保された。 | | | | | | | | | | | | |
| 5)実施過程の評価 | 実施内容 | | | | | 実施状況 | | | | | 今後の対応方針等 | | |
| | モニタリング | 事業の進捗状況及び効果の発現状況を把握し、評価を実施する。 | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | |
| | 住民参加プロセス | 随時、連携組織と協議・意見交換を図りながら計画の管理を進めていく | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | ● | 施設整備計画から引き続き施設運営に参加していただき、地域活性化に向けた取り組みを強化し、地域コミュニティの維持向上に繋げていく。 | |
| | 持続的なまちづくり体制の構築 | 各種関係団体と連携し、地域が主体となった管理・運営 | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | ● | 事業完了後も行政が必要な支援を行いながらも、地域の施設であるとの認識を向上させ、地域主体の管理運営形態を強化していく。 | |

